

関東支部＜水コン協関東支部全体協議会＞労働環境改善を要望

# 労働環境改善を要望

水コン協関東支部  
全体協議会

## 公益社団法人への移行を検討

全国上下水道コンサルタント協会関東支部（支部長 菅伸彦・オリジナル設計社長）は5月16日、都内で第7回通常全体協議会を開き、平成29年度事業計画と予算、幹事の辞任にともなう役員

は、技術継承と人員不足、長時間労働に対する労働環境改善の取り組みについても意見交換し、事業体に対する今年

の要望・提案事項に加えることとした」と話した。29年度事業では、基本方針として▽発注者に対し、上下水道コンサルタントの健全な発展に向けた施策の実施と、良質な成果品の提供を維持するための配慮を要望する▽時代の変化に対応し、発注者の多様な要望に応え



菅支部長

の選任などの議案を了承した。功労賞の表彰式、菅園洋昭・国土交通省下水道部下水道事業課企画専門官による行政説明に続き、石井晴夫・東洋大

学経営学部教授が講演し、水道法の一部改正法案などが話題となった。菅支部長があいさつし、「上下水道コンサルタントの立ち位置は変化しており、役割の拡大にともない他企業とのさまざまな連携が必要となっている。協会の倫理綱領の改正とともに、活動領域の拡大と発展、会員の地位向上を目指し、公益社団法人への移行を検討している。会員企業の上

下水道事業における昨年度の受注総額は、対前年度比7.6%増で、平成23年度以降引き続き増加となっている。30回を迎えた下水道事業座談会で

る秀でたコンサルタントの育成と次代を担う優れた人材の確保に取り組む▽支部の重点施策を支援するための広報戦略を検討する」とし、労働環境改善への配慮に関する要望活動の実施と、対外的に支部活動を広報する効果的な方法の検討を、新たに重点施策に加えた。